

HIV 感染者における性腺機能低下に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年 12月 8日 ~ 2022年 3月 31日

〔研究課題〕 HIV感染者における性腺機能低下の実態と生活習慣病との関連に関する後ろ向き観察研究

〔研究目的〕 HIV感染症において、長期合併症である高血圧や脂質異常症、糖尿病などが起こりやすいことが分かっており、大きな問題となっています。一方で、一般的に男性性腺機能低下はこのような長期合併症と関連があることが分かっており、HIV感染者においても関連がある可能性があります。また、欧米の研究では、HIV感染者において男性性腺機能低下が多く認められるという報告もあります。本研究は、当院に通院されている男性HIV感染者における性腺機能の状況及び長期合併症との関連を評価することを目的としています。

〔研究意義〕 本研究により、日本人HIV男性感染者における男性性腺機能低下の実態把握が可能となります。また、HIV感染症のマネジメントに重要となっている長期合併症と男性性腺機能低下が、非感染者と同様に関連することが証明されれば、男性ホルモン補充などの長期合併症管理の新たなアプローチ法が検討可能となり、今後の長期合併症管理に有益な情報を得ることができると考えております。

〔対象・研究方法〕 2018年9月1日から2020年10月31日までに当院内科にHIV感染症で通院されている男性成人患者様を対象としています。血液検査にて遊離テストステロン測定を行った方を対象に、年齢、BMI、合併症治療歴や同時期に検査されている血液検査結果：HIVウイルス量・CD4陽性リンパ球数・肝機能・腎機能・脂質・血糖・HbA1c・などについて、カルテを参照して調べます。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部内科学講座/吉野友祐

〔個人情報の取り扱い〕 研究中は、得た情報は本人とわからないように匿名化し、データは、それぞれパスワードを設定したファイルに記録し、研究室に保存して、鍵の掛かるキャビネットに保管します。研究終了後は帝京大学臨床研究センター（TARC）にて10年間厳重に保管ののち、保管した情報は破棄します。

〔その他〕 研究に際して、患者様の金銭的・身体的負担になることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：吉野友祐

所属：内科学講座

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部 e-mail: yyoshino@med.teikyo-u.ac.jp

TEL：03-3964-1211 (代表) [内線 7731]